



流域1万人だより 001～010

～未来の筑後川のためにあなたの声を聞かせて下さい！～

001. 久留米市自治会連絡協議会会長プレヒアリング (2004.07.09)

002. 原鶴で遊覧船の船頭さんと仲居さん (2004.07.12)

003. 善導寺校区公民館 (2004.07.14)

004. 合川校区公民館 (2004.07.15)

005. 山川校区公民館 (2004.07.15)

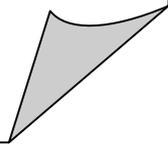
006. 宮の陣校区公民館 (2004.07.22)

007. 小森野校区公民館 (2004.07.22)

008. 久留米市自治会連絡協議会(幹事会) (2004.07.22)

009. 善導寺校区公民館 (2004.07.23)

010. 南薫校区公民館 (2004.07.29)



流域1万人だより VOL.1

～ 未来の筑後川のためにあなたの声を聞かせて下さい！～

久留米市自治会連絡協議会会長とプレアリングを行いました！

筑後川水系河川整備計画策定に向けて、流域にお住まいの様々な方の筑後川に対するご意見を伺っていく流域1万人会議がスタートしました。まずは7月9日(金)に久留米市自治会連絡協議会会長であり大橋校区自治会連絡協議会会長でもある亀川氏に当事務所の計画の説明を行い、流域1万人会議の趣旨にご賛同頂き、また併せて筑後川に対する想いも伺うことができました。これからも引き続き様々な方にヒアリングを行っていく予定です。今後の流域1万人会議の開催予定は以下のとおりとなっています。ヒアリング参加者:国(調査課)3名、久留米市(河川課)1名

久留米市内住民懇談会

7月22日(木) 久留米市自治会連絡協議会幹部会にて協力要請
その後、各自治会長へ協力依頼及びヒアリングを行います。

大橋地区住民懇談会

7月17日(土) 巨瀬川川づくり懇談会にて住民懇談会の事前説明を行い協力要請
住民懇談会については蜷川公民館で開催予定です。

亀川氏への筑後川ヒアリング

川がまだ身近な存在であった頃の思い出や、
これからの筑後川に対する夢を語って頂きました。

【筑後川での思い出】

昔はプールがないので夏は筑後川で泳いでいたし魚を捕って食事にもしていた。
今の筑後川の状況は残念に思う。
昔は筑後川の中で泳いでも目を開けて泳ぐことが出来た。水質が悪くなったのを感じる。
S17～S18年代まで水天宮の所まで遠浅になっていた。
きれいなきらきらした砂浜が広がり、おかげで水辺に限りなく近づきやすかった。
S28災時には旭町付近は1週間水浸しになった。BS病院や篠山小学校にも
避難した。旧国鉄駅前も水で浸かってしまい、列車の中に人が避難し寝泊まりしていた。
篠山城の裏手にあるポンプが動き出して家に帰れるようになった。
小森野橋が真ん中から落ち込んで両側が将棋倒しのように倒れて流れていくのを見た。
そのとき川に投げ出された人も見た。そのまま流されて国鉄の鉄橋につかまって
助かった人もいた。また豆津橋では流された人を引き上げていた。
小森野側の堤防は壊れなかった。
中央公園に向けて水が一気に流れ込み、家がいくつも流されていった。
旧国鉄駅前の酒屋さんのお酒の一升瓶が流されていき、橋ではお酒を引き上げた人が
そのお酒で酒盛りをしていた。

【筑後川への夢】

護岸がしっかり出来ていて近づきにくい。昔の身近な存在だった頃の筑後川に戻りたい。
昔の記憶をたどる筑後川図を作りたい。今はなき昔の筑後川の面影を地図に残し、
将来図として次世代に残したい。
以前は宮の陣橋付近に貸しボート屋があった。
ボートに乗って久留米大橋付近まで行って戻ってこれるので楽しかった。
巨瀬川も柳川のように川下りを行い、筑後川にも出られるようにしたい。

流域1万人だより VOL.2

～ 未来の筑後川のためにあなたの声を聞かせて下さい！～

原鶴で遊覧船の船頭さんと仲居さんにお話を伺いました！！

筑後川水系河川整備計画策定に向けて、流域にお住まいの様々な方の筑後川に対するご意見を伺っていく流域1万人会議がスタートしています。今回は7月12日(月)に調査課職員自ら原鶴の遊覧船に乗船し、ダイナミックな鵜飼風景を見学しつつ和やかな雰囲気のもと、船頭さんや仲居さんなど筑後川を身近に利用される方々のご意見を伺ってきました。これからも引き続き様々な方にヒアリングを行っていく予定です。

原鶴の遊覧船の船頭さんと仲居さんへの筑後川ヒアリング

遊覧船に乗って筑後川を身近に見てきた船頭さんと仲居さんのご意見は、鵜飼いの現状や筑後川の水質など、鵜飼いの遊覧船を生業としている方々の切実なご意見が出されました。

【船頭さんへのヒアリング】

以前は竿で漕いでいたが、船外機を積んだ現在の遊覧船スタイルは、船頭の仕事を始めた20年くらい前にはすでに定着していた。また鵜飼いというのは代々親子で伝承していつている。鵜匠になるためには修行が必要。

船の灯りに集まった鮎の腹のうろこの光に鵜は反応して鮎を捕まえている。また鮎を捕まえる際は必ず鮎の口からくわえて捕まえるようになっている。もし尾から捕まえても、鵜は器用に一度宙に放ってから鮎の口からくわえてくる。それは鮎の尾や背びれが鵜の口や喉にひっかからないようにするため。

鵜飼いは8羽の鵜を操るのが基本になっている。多すぎてもひもがからまるし、少なすぎても見栄えがしないしよくない。また鵜は交代で鵜飼いに出しているのではなく、毎回同じ鵜でフル出場してがんばっている。

ここ近年鵜が取る筑後川の鮎の数は増えてきたと思う。

子どもの頃は筑後川の右岸から左岸まで泳いで渡ったりしていた。

一時期は水質が悪くなった時期もあったが、7～8年前くらいからよくなってきた。

現在ではメダカやザリガニなども見られるようになった。浄水施設が整備されたおかげだと思っている。

原鶴付近の河川敷では草むらの中で蛸を見ることがある。

【仲居さんへのヒアリング】

原鶴へマイクロバスでお客さんを送迎する際、堤防道路を通ることを温泉宿の間で禁止している。それは堤防道路の幅員が狭いため、お客さんを送迎するのに危険だから。

鵜飼いは天候に大きく左右されるため、去年はかき入れ時の7月でも遊覧船の乗船が4回しかなかった。



流域1万人だより VOL.3

～ 未来の筑後川のためにあなたの声を聞かせて下さい！ ～

善導寺校区公民館を訪問し、お話を伺いました！！

筑後川水系河川整備計画策定に向けて、流域にお住まいの様々な方の筑後川に対するご意見を伺っていく流域1万人会議がスタートしています。今回は7月14日(水)に善導寺校区公民館において、善導寺校区公民館館長及び善導寺校区自治会連絡協議会会長にお話を伺いました。これからも引き続き様々な方にヒアリングを行っていく予定です。

善導寺校区公民館でのヒアリング

【昔の筑後川について】

巨瀬川は以前と比べて川幅が狭くなった。昔は鎮西橋付近で泳いでいた。今は遊泳禁止になって泳ぐことができない。水質も悪くなりどぶ川のようにになっている。鎮西橋付近には舟の発着所があり、大川まで下って潮干狩りをしていた。今はむやみに川で泳いで深みが急で危ない。砂利採取のためどんどん深みができている。今は川岸からいきなり深くなっている。筑後川の菜の花は昔から咲いていた。自然に種が飛んできて、酪農家が牧草地にしている。遊歩道ができているが、その向こうはヨシだらけでごみばかり。どこからが川なのか分からない状態になっている。見回りをしても合間をぬってゴミを捨てに来る人がいる。特に土日が多い。

【治水対策について】

梅雨時期は皆で見回りを行うよう呼びかけをして、現状の確認をしている。しかし不動川や藤町川の合流点は水量が多くなるので危ない。昔は下流は水田だったが、今は土盛りされて遊泳地がなくなり、宅地化され住宅地は危険にさらされている。赤岩の樋管の改修を行って欲しい。また付近には遊水池がないため水が一気に流れ込んでくる。堤防を切って水門をつくるなど、吐き出し口を作って欲しい。

【舟運について】

水天宮から巨瀬川まで舟を通したいという意見が出ている。

【地名の由来について】

木塚という由来は、昔はその場所に塚があった。今でも塚はあり、田んぼの真ん中に木塚の古墳もある。しかし放置されている。



流域1万人だより VOL.4

～ 未来の筑後川のためにあなたの声を聞かせて下さい！～

合川校区公民館を訪問し、お話を伺いました！！

筑後川水系河川整備計画策定に向けて、流域にお住まいの様々な方の筑後川に対するご意見を伺っていく流域1万人会議がスタートしています。今回は7月15日(木)に合川校区公民館において、合川校区公民館館長及び合川校区自治会連絡協議会会長にお話を伺いました。これからも引き続き様々な方にヒアリングを行っていく予定です。

合川校区公民館でのヒアリング

【昔の筑後川について】

宮の陣橋の上流付近は、川幅の1/3位まで以前は砂浜が広がっていて、子どもたちにとっては格好の遊び場があった。水も透明で、川の中に広場のような砂場があり、しじみを探ったりしていた。当時は学校のグラウンドを畑にして穀物を植えたりしていたので、学校行事である運動会などは川の中の砂場で行っていた。砂というのは大切な資源だと思っている。今は自然の中で遊ぶ場所が少ないので、川の中で魚を探ったりして遊びたい。

【水質について】

下弓削川の水量が少ないのでよどんでいくさい臭いがしている。筑後川の水を流入させて希釈して欲しい。昔の川の姿こそ本来の川らしい姿だと思う。その水は透明で飲めるほどであった。今は30cm先も見えないほど濁っている。その汚れた水を飲料水にしているため、薬くさくて水も飲めない。

【河川敷の道路の利用について】

ゆめタウンが出来たおかげで合川校区に入ってくる車の交通量が多くて危険な思いをしている。河川敷を道路として使えたらと思う。全面開放は無理だとしても、交通量の多い土日だけでも開放するなど柔軟な運用を考えて欲しい。

【堤防の植生について】

堤防にコスモスを植えてあるところが増えてきつつあるが、耕して土が軟らかくなっているため、雨が降ると土が落ちて田畑へ流れ込んでくる。植生の見直しが必要。

【昭和28年の水害について】

昭和28年の水害の際は、堤防の上から50～60cmのところいくつかモグラの穴があり、そのモグラの穴から水が流れ出ていた。また昭和28年の水害の後から、各家庭に舟を置き始めた。しかし各家庭には舟を漕ぐ経験者がいないため、実際は漕ぐことができなかった。下弓削地区は浸水しやすいため、昔から舟を使っていた。下弓削の子どもたちは舟に乗って通学していた。

【高良川の整備について】

水辺で子どもたちに自然体験をさせてあげたい。今の高良川はまだ子どもを遊ばせる状態にはない。川の真ん中に木があったりよどんだりしている。川の中を歩くのは不可能。もっと子どもやお年寄りが入りやすい川づくりをして欲しい。



合川校区での
1万人会議・住民懇談会は
8月末に開催予定です！！

流域1万人だより VOL.5

～ 未来の筑後川のためにあなたの声を聞かせて下さい！～

山川校区公民館を訪問し、お話を伺いました！！

筑後川水系河川整備計画策定に向けて、流域にお住まいの様々な方の筑後川に対するご意見を伺っていく流域1万人会議がスタートしています。今回は7月15日(木)に山川校区公民館において、山川校区公民館館長及び山川校区自治会連絡協議会会長にお話を伺いました。これからも引き続き様々な方にヒアリングを行っていく予定です。

山川校区での住民懇談会開催スケジュール

日時：8月25日(水) 15時から
場所：山川校区公民館

当日は「地域づくりを考える久留米市長懇談会」が校区民約70名を集めて山川校区公民館で開催されます。
流域1万人会議・住民懇談会は市長懇談会終了後に行う予定です。

山川校区公民館でのヒアリング

【昭和28年の水害について】

宮の陣付近は1軒か2軒は浸水を免れたが、その他の家屋は全滅状態となった。
水害の後に消石灰を配っていた
大刀洗水門付近の堤防が切れて北野町が浸水した。それより上流付近は切れなかった。
家ごと流されていく風景を見た。また牛が屋根の上に上っていた。
電線にわらが下がっていた。
山川付近の旧210号あたりから筑後川の水面が見えるほど水かさが増していた。
現在の地場産付近で、竿が届かないため電柱線を握って船を引っ張って避難した。

【昔の筑後川について】

昔の筑後川は川の中に池があって川どじょうがおり清水がわいていた。
山川付近の水質もきれいだった。
神代橋付近の上流には砂浜があり池もあった。また神代橋には船着き場があり、小森野堰を通して潮干狩りに行っていた。

【現在の筑後川について】

太郎原付近には河川敷の公園がない。
ゲートボールやランドゴルフなどができる川の中の公園が欲しい。
防災ステーションを設置して欲しい。
大谷川の水質が汚い。



流域 1 万人だより VOL . 6

～ 未来の筑後川のためにあなたの声を聞かせて下さい！ ～

宮の陣校区公民館を訪問し、お話を伺いました！！

筑後川水系河川整備計画策定に向けて、流域にお住まいの様々な方の筑後川に対するご意見を伺っていく流域1万人会議がスタートしています。今回は7月22日(木)に宮の陣校区公民館において、宮の陣校区公民館館長ほか2名の方にお話を伺いました。これからも引き続き様々な方にヒアリングを行っていく予定です。出席者:国(調査課)3名、市(河川課)1名

宮の陣校区公民館でのヒアリング

【昔の筑後川について】

当時は学校が終われば泳ぎに出かけていた。水が流れる幅よりも砂浜の方が幅が広がった。西鉄宮の陣駅より上流(31K付近)の五郎丸の浜を泳いで渡れば選手と認められた。

南筑高校生が砂浜でグライダーの練習をしていた。

筑後川で兵隊が撤収訓練を行っていた。地域の人は川に慣れているため、水死する人は兵隊の方が多かった。

地元の人は西鉄の鉄橋から筑後川へ飛び込んで遊んでいた。当時の筑後川は鉄橋から鯉が泳いでいるのが見えた。また31K付近にテナガエビを釣りに行っていた。ハヤやエビやカニなどがすんでいた。魚を捕るため家庭には舟を置いていた。くもでの網でハヤを捕ったりもしていた。

川には郷愁があり、昔の思い出や夢が詰まっている。

【河川の利用・活用について】

百年公園のところに子どもたちとカヌー教室を行えるような水路をつくって欲しい。

ゆめタウンができて交通量が多くなったため、宮の陣橋は毎朝2Kくらい渋滞している。新たな橋を建設して交通渋滞の解消をして欲しい。

【水面利用のマナーについて】

河川敷のゲートボール場付近で見かける水上バイクには迷惑している。ゲートボールする人が暖をとるための木材に火をつけられるので火災が多い。またゴミを捨て、焼いたまま放置していく人もいる。その付近は芝がとぎれており、ゲートボール場として貸さないという話も出たほどで、ゲートボールをする人も迷惑している。国や市から怒られるのは住民なので困る。利用者のマナー、ルールづくりが必要。

【昭和28年の水害について】

三条の堤防が切れたときは十数軒が流されていった。当時は避難勧告というものがなかった。福井県で起こっている水害の被害の比ではない。大刀洗川の出口が300Mくらい切れた。当時は上流の改修は進んでいたが、下流の合流点付近は狭かった。現在は宝満川のポンプが出来た為水害は起こっていない。

【筑後川の水質について】

思案橋川は今は汚れて下水溝のようになっている。昔は付近では魚が一番捕れる川だった。畜産団地があるので、浄化槽に使っているのか水質が悪くなった。一昨年に工事が終わり、三面張りになったので土砂がたまって水深がものすごく浅い。また水も濁っている。新宝満川にも魚はいるが、臭くて食べられない。今では釣る楽しみしか残っていない。



流域1万人だより VOL.7

～ 未来の筑後川のためにあなたの声を聞かせて下さい！ ～

小森野校区公民館を訪問し、お話を伺いました！！

筑後川水系河川整備計画策定に向けて、流域にお住まいの様々な方の筑後川に対するご意見を伺っていく流域1万人会議がスタートしています。今回は7月22日(木)に小森野校区公民館において、小森野校区公民館館長ほか1名の方にお話を伺いました。これからも引き続き様々な方にヒアリングを行っていく予定です。

宮の陣校区公民館でのヒアリング

【昭和28年の水害について】

久留米高専はほかの建物よりも1.5倍ほど高く建てられていた。周辺のそのほかの建物は低かった。小森野は宝満川から水が流入してきた。水防団と地区の人が土俵を置いていた。当時は小森野付近は竹林だったため、その間に土俵を置いていた。もう半日も雨が続けていたら堤防は切れていた。小森野は川に囲まれているため昔から水害に悩まされてきた。そのため水防団の団結力がある。小森野橋に木材が流れ込み、そこに農家のわらがたまって堰になり、水が一気にあふれていった。西鉄の鉄橋の所で渦が巻いていて、そこでかなりの人が引き上げられ救助されていた。そのような状況では筑後川に飛び込むより橋に乗っていた方が安全だった。

【昔の筑後川について】

小森野の畑はよい野菜が採れる。水害などで水がよく流れ込むため肥沃地になっている。宝満川ではよく泳いでいた。川エビなどもたくさんいた。櫛原中学校への往復には筑後川を泳いで渡っていた。

宝満川合流点～新宝満川合流点まで昭和28年時には桜の木が植わっていたが、堤防拡張時に撤去された。

小森野床固の下で数年前に人が亡くなった事があった。渦では抵抗してはいけない。息を止めて流れに身を任せる。川で遊んだことがある人は皆知っていた。

【寄生虫について】

当時は皆、日本住血吸虫病にかかっていた。10年間くらい原因不明だったため、分からずに毎日のように川へ入り続けていた。その周囲にはヨシやコモなどが生えており、湿地化していた。今の70歳代の方は身長が低い人が多い。それは身長が低いと兵役を免れるため、ジストマのいた宮の陣の將軍梅の池の水に浸かっていた。ジストマは内臓に卵を産み付けて成長に影響を与えていた。ジストマの存在は知らなかったが地元では身長が伸びなくなる池として有名だった。

【堤防の除草について】

川表側は年2回除草するが、川裏側は年1回しか実施しない。川をもっと眺めたいのもっと除草を行って欲しい。

先日新聞で高水敷に勝手に桜の木を植え、行政側から撤去費用を請求されたという記事を読んだ。2千年橋の下付近に個人が堤防に植木を植えている所がある。道路にかかっているので調べて欲しい。

【筑後川への夢について】

思案橋付近の水門は水路が狭いため水がはけず、付近の農地がよく水に浸かってしまう。水門をつくって欲しい。

前久留米市長が小森野付近の水質は泳げるほどに回復したと言っていた。筑後川の水を小森野川へ流すことはできないか。また久留米高専のあたりに湧水公園をつくって欲しい。

水に囲まれているため水を是非利用したい。水害ばかりではなく水による潤いが欲しい。宝満川にも沈み橋があるが中途半端で利用しづらい。もっと整備して利用しやすくして欲しい。

久留米高専の付近の宝満川は堤防が低いので対応が必要。

小森野の堤防は櫛原側や鳥栖側の堤防より低いと地元の方が言っている。

流域1万人だより VOL.8

～未来の筑後川のためにあなたの声を聞かせて下さい！～

久留米市自治会連絡協議会(幹事会)にて協力要請を行いました！

筑後川水系河川整備計画策定に向けて、流域にお住まいの様々な方の筑後川に対するご意見を伺っていく流域1万人会議がスタートしています。今回は7月22日(木)に久留米市民会館において、自治会連絡協議会の幹部の方々に当事務所の計画の説明を行うと共に、1万人会議開催にあたっての協力要請を行いました。これからも引き続き様々な方にヒアリングを行っていく予定です。参加者:会長 亀川氏(大橋)、副会長 龍氏(青峰)、杉氏(篠山)、久保山氏(京町)、庶務 稲益氏(上津)、広報委員長 國分氏、国(調査課・久留米出)4名、久留米市(河川課)2名

久留米市自治会連絡協議会(幹部会)でのヒアリング

【昔の筑後川について】

各学校にプールがある現在と違い、筑後川が自然のプールで皆で泳いでいた。今は学校側が川で遊ぶことを禁止している。生活排水の為に水質が悪くなった。現在の水質が改善されることを切に願う。

今ではすっかり見なくなってしまったが、筑後川にも砂浜が多かった。やはり砂利採取がその一因ではないだろうか。

【舟運について】

梅林時・水天宮付近には貸しボート屋があり、よくボートで遊んでいた。

舟に乗って宮の陣から大川まで潮干狩りに行けたものだ。

【河川整備計画について】

役所(国、市等)は 計画、 構想と名の付く仕事が多く、市民側から見ると懸命に地元の為に頑張ってくれるのは分かるが、タテ割りではなく総合的な計画というものではないのか。川も大切だが山も大切である。また行政側も個人も自分に都合のいいように用語をつくるケースが多く感じる。(“親水”という言葉も造語なのでは?)



流域 1 万人だより VOL . 9

～ 未来の筑後川のためにあなたの声を聞かせて下さい！ ～

善導寺校区公民館にて協力要請を行いました！

筑後川水系河川整備計画策定に向けて、流域にお住まいの様々な方の筑後川に対するご意見を伺っていく流域1万人会議がスタートしています。今回は7月23日(金)に善導寺校区公民館において、再度計画説明及び協力要請を行いました。これからも引き続き様々な方にヒアリングを行っていく予定です。参加者:公民館長 鬼塚氏、自治会連絡協会長 中村氏、まちづくり振興会 永松氏、高木氏、佐藤氏、吉岡氏、国(調査課、片ノ瀬出)3名、久留米市(河川課)1名

【善導寺校区での今後の展開】

7月30日(金) 区長説明

9月10日(金) 住民懇談会

場所: 善導寺校区公民館

時間: 19時30分～

善導寺公民館でのヒアリング

【昭和28年の水害について】

大橋上流の旧本川が昭和24年に現在の河道に変更されたことにより、昭和28年の水害の被害を免れた地区も多かった。河道の変更がなければかなりの被害が生じていた。また木塚・古北地区周辺は昭和28年の水害の被害を受けたが、その後昭和34年の現鎮西湖の締め切り及び堤防の改修がなされ、その後は水害と無縁になり現在に至っている。

昭和28年水害は夜明ダムが原因で起こったのではないかとこの意見が当時はあった。夜明ダムの所長の息子はそれが原因でいじめられていた。

【昔の筑後川について】

旧鎮西橋の上流付近は砂浜が広がり、大きな岩もあった。対岸まで歩いて渡れるほど水深の浅い所もあった。砂利採取の影響もあると思うが、現在は河床が2M位下がっている。井戸(地下水)も10M～11M位で水源に達している。以前は旧鎮西橋付近で泳いでいた。対岸まで渡りきって1人前と認められた。ヘビも泳いでいた。ウナギやナマズやタイワンドジョウやオヤニラミなどもいた。シビンタなどは20cmほどの大きさだった。カーバイトで灯りをたいて、川魚を捕ったりしていた。

昔は鎮西橋の下から舟が出ていて大川まで潮干狩りに行っていた。麻袋2つは簡単に採れたものだ。あまり採りすぎて舟が浮かなくなり、それが原因で亡くなった人がいたほどだった。また善導寺(36K付近)には“渡し”もあって、対岸との往来のための重要な生活手段となっていた。川表側の小段には“渡し”の記念碑が建っている。また筑後川39K付近には宮の陣の“渡し”があった。

そこでは米の積み降ろしや料金所などもあった。田主丸町の町史を見てもらうと分かる。日田から大川までイカダで下って帰りは久大線で帰っていた。

昔は筑後川の水もきれいで飲めるほどだった。

【筑後川への夢について】

巨瀬川と本川との合流点から左岸沿いに放水路、本川には堰を設けて中流地区にもできるだけ水量が確保できる整備を行って欲しい。

【ゴミ対策について】

大城橋付近は粗大ゴミ捨て場となっている。家財道具なども捨ててある。210号の堤防道路からポイ捨てする車もある。巨瀬川上流の合流点もゴミが多い。迷惑している。鎮西湖は観光バスも来るほど観光名所にもなっている。水辺の環境をよくしたい。

流域1万人だより VOL.10

～未来の筑後川のためにあなたの声を聞かせて下さい！～

南薫校区公民館を訪問し、お話しを伺いました！！

筑後川水系河川整備計画策定に向けて、流域にお住まいの様々な方の筑後川に対するご意見を伺っていく流域1万人会議がスタートしています。今回は7月29日(木)に南薫校区公民館において、計画説明及び協力要請を行い、また筑後川に対するご意見を伺いました。これからも引き続き様々な方にヒアリングを行っていく予定です。参加者：公民館長淵上氏、自治会連絡協会長堤氏ほか4名、国(調査課)3名、久留米市(河川課)1名

【南薫校区での今後の展開】

9月9日(木)住民懇談会

場所：南薫校区公民館

時間：19時30分～

南薫公民館でのヒアリング

【昔の筑後川について】

宮の陣橋から西鉄まで砂浜になっており、学校の水泳で川を利用していた。当時は砂浜ではシジミのことを昔はアオゲ(青貝)と呼んでいた。食べてもおいしかった。

宮の陣橋付近には貸しボート屋があり、ボートで競争したりして遊んでいた。昔と違い今は子どもたちが遊ぶところが大変少なくなってしまった。

筑後川は昔は四万十川のように水質がきれいだった。戦後ホテイアオイが繁殖し始めた。ホテイアオイ

が繁殖すると水質が悪くなってきた証拠なので、何とかしなければならぬとは感じていたが、現在では水質も完全に悪くなってしまい、大堰が出来たことで流れも滞ってしまった。

町内の仲間達で舟に乗って大川まで下り、ボラを食べたりして船旅をした。

明治40年代、陸軍の特別大演習のために明治天皇が久留米に行幸された際の記念碑が久留米大橋の左岸側にあったが、百年公園に移設してしまった。改修によるものだろうが、史跡がなくなってしまったのは寂しく感じる。

昔のウブスナ八幡宮の所にハチク(たけのこ)を取りに行っていた。あのあたりは昔は竹林だった。

筑後川から出た廃土を日ノ出町に持って行っていた。そこは当時は埋め立て地だった。

【筑後川への夢について】

日田から大川まで縦貫道路をつくって欲しい。人と物の交流を活性化させたい。

